

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年5月15日（金）

### 2 確認箇所

- ・雑固体廃棄物焼却設備（図1）
- ・伐採木一時保管エリアG（図1）

### 3 確認項目

- （1）雑固体廃棄物焼却設備の稼働状況
- （2）伐採木一時保管エリアGの状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）雑固体廃棄物焼却設備の稼働状況

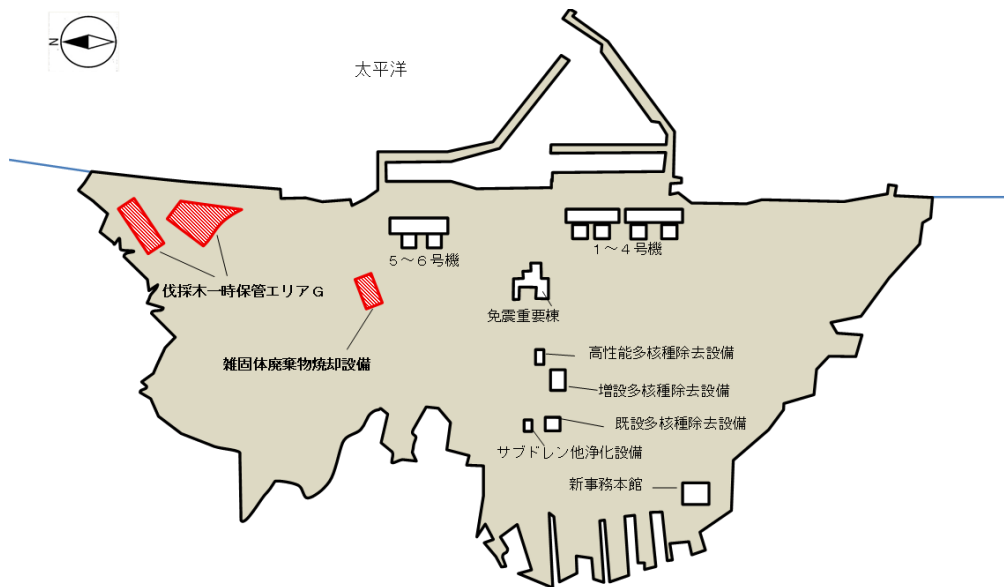
東京電力では、福島第一原子力発電所において発生する作業員が使用した装備品（カバーオール・下着類他）や工事廃材（ウエス・紙類他）等を雑固体廃棄物焼却設備により減容処理している。今回は雑固体廃棄物焼却設備の稼働状況を確認した。（前回確認：[令和7年8月4日](#)）

- ・雑固体廃棄物焼却設備は2系統（A系及びB系）の焼却炉で構成されており、現地確認時はA系・B系ともに稼働していた。（写真1）
- ・現地確認時、A系では焼却灰の回収が行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲で廃棄物の飛散やダストモニタの指示値の上昇、系統からの油の漏えい等は確認されなかった。（写真3）

#### （2）伐採木一時保管エリアGの状況

東京電力では、東日本大震災後に福島第一原子力発電所構内の敷地造成等により発生した伐採木について、枝葉は線量低減対策及び火災発生リスクへの対処として、破碎・減容後、構内に設置された伐採木一時保管槽（以下「一時保管槽」という。）に保管し、表面線量の低い幹の部分は屋外集積している。今回は、主に伐採木が保管されている伐採木一時保管エリアGの状況を確認した。（前回確認：[令和8年1月15日](#)）

- ・エリアの南東側にある一時保管槽は遮水シートで覆われており、一時保管槽ごとにガス抜き管及び温度計が設置されていた。（写真4）
- ・槽内の温度は、確認した範囲において、10℃台から40℃台であり、東京電力の対応目安基準温度である60℃を下回っていた。（写真5）
- ・確認した範囲では、一時保管槽からの内容物の飛散や流出のほか遮水シートの破損等の異常は確認されなかった。
- ・エリアの北西側では伐採木の幹の部分の保管が解消されており、1m<sup>3</sup>コンテナや金属くず等が保管されていた。（写真6）



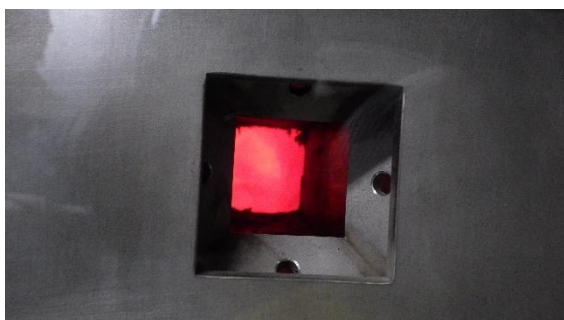
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
A系設備（焼却炉等）の状況



(写真1-2)  
A系設備の燃焼状況



(写真1-3)  
B系設備の燃焼状況



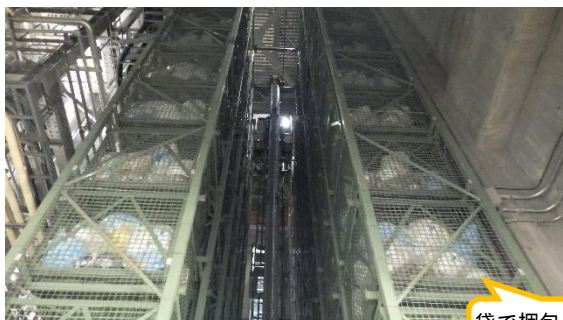
(写真 2 - 1)  
灰の回収作業の状況



(写真 2 - 2)  
回収した灰の運搬状況



(写真 3 - 1)  
連続ダストモニタと空間線量計の状況



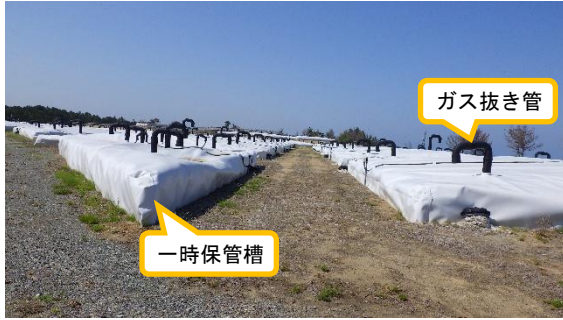
(写真 3 - 2)  
焼却する廃棄物の状況

袋で梱包された  
廃棄物



(写真 3 - 3)  
焼却炉バーナの系統の状況  
内堰内に油の滴下等は見られない。

内堰



(写真4)  
一時保管槽の状況



(写真5)  
温度計の整備状況



(写真6-1)  
1 m<sup>3</sup>コンテナの保管状況



(写真6-2)  
金属くず等の保管状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。